

もうすぐ梅雨入り

雨の備えは万全ですか？



—がけ地整備に市が補助します

これから雨の多い季節を迎えます。長雨や集中豪雨は、洪水やがけ崩れなど大きな被害をもたらすこともあります。被害を最小限にするためには、日ごろからの備えが大切。もう一度家の周りを点検してみましょう。市では、危険ながけ地を整備する人に対して補助金を交付し、がけ崩れによる災害を防止しています。

集中豪雨には 注意が必要

集中豪雨は、短時間のうちに狭い地域に集中して降る豪雨のことです。梅雨の終わりにくよくく起こります。

狭い地域に限られ、突発的に降るため、中小河川のはんらんや土砂崩れ、がけ崩れなどによる大きな被害が予測されます。

気象情報には十分注意しましょう。

突然発生する がけ崩れ

がけ崩れは、斜面が突然崩れ落ちる災害で、大雨・長雨などで地面に水が染み込んだときや、地震がきっかけで起こります。

がけ崩れは、前ぶれがありません。突然発生します。また、スピードが速く、崩れた土砂が斜面の高さの2～3倍も離れた所まで届くことがあります。

次のような現象が見られたら注意が必要です。もう一度家の周りを点検してみましょう。

○がけから水が急に吹き出したり、濁り始める

○がけや斜面に亀裂が入る

○小石がバラバラ落ちてくる

災害情報は 防災行政無線で

大雨のときなどに発表される注意報や警報は、各地域の住民に注意を呼び掛け、災害による被害を最小限に食い止めることを目的にしています。

注意報は、災害が起こる恐れがあるときに、警報は、重大な災害が起こる恐れのあるときに発表されます。

れます。

大雨などによる災害の予報・警報などの情報は、市内92カ所に設置された防災行政無線で市民のみなさんにお伝えします。

万一、防災行政無線を聞き逃した場合、消防本部災害状況等案内(☎24 3838)に問い合わせてください。

くわしくは総務課防災対策室(☎20 1510)へ。

がけ地整備事業補助金

500万円を限度に事業費の半額を助成

市では、危険ながけ地による壁を設けたり、のり面(傾斜地)を整備したりする人に対して補助をしています。

●補助対象事業

○高さ(垂直)が5m以上のがけ地の整備

○崩壊して家屋に著しい被害を及ぼす恐れのあるがけ地の整備

なお、宅地造成事業や宅地分譲事業の一つとして整備する場合は、対象とはなりません。

●補助額 = 500万円を限度に、事業費の半額補助を受けるには手続きが必要です。着工する前に土木課に相談してください。くわしくは同課(☎20-1550)へ。



斜面対策で雨でも安心(成毛地区)